

報告事項（イ）

平成26年度PTA調査結果について

平成26年度PTA調査の結果について、別紙のとおり報告します。

平成27年7月24日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度PTA調査結果について～概要版～

小中学校課

1 調査目的

- ①現在の県内各PTAの実態を把握する。
 - ②特色あるPTA活動、課題等を明らかにし、PTA活動の推進に向け活用を図る。
 - ③学校と保護者の連携のあり方を検討する基礎資料とする。
- ※4年毎に調整実施（前回H22年度）

2 調査概要

(1) 時期

平成26年12月～平成27年1月

(2) 対象

鳥取県内の全小・中・高・特別支援学校、及び幼稚園・認定こども園・保育所単位PTA

(3) 項目

- ・PTAの組織 ・研修内容 ・スポーツ・文化活動 ・広報活動 ・諸活動への参加状況
- ・事業の活用 ・PTAの課題 等

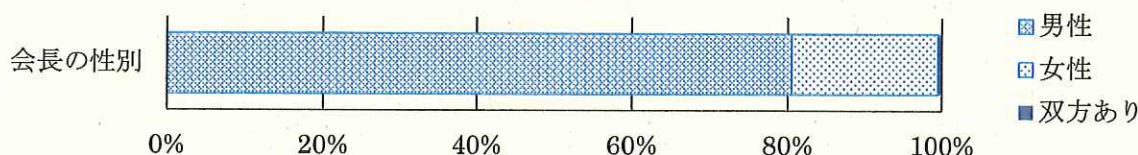
(4) 有効数

※小中一貫校は中学校で集計

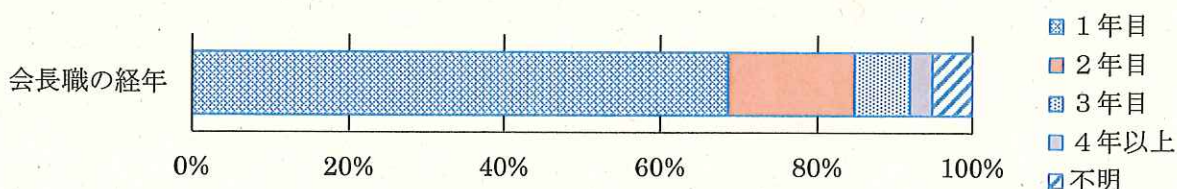
	保育所	幼稚園 ・認定こ	小学校	中学校	特別支 援学校	高等学 校	計
園・学校数(送付数)	172	35	130	63	11	32	443
回答総数(回収数)	143	26	130	63	11	32	405
回収率(%)	83	74	100	100	100	100	92

3 調査結果（一部抜粋）※全資料は参考資料として配付

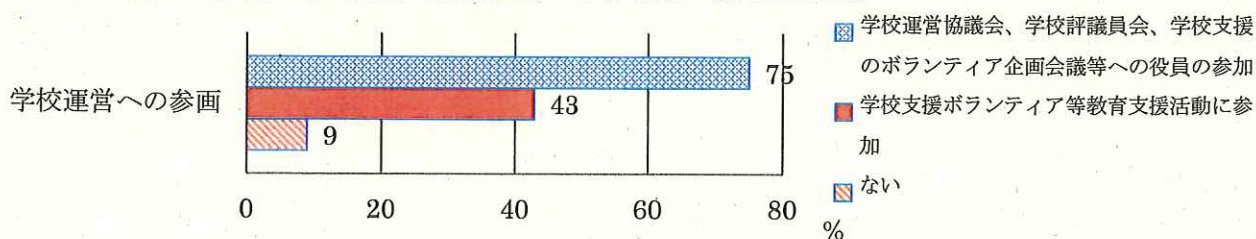
◆会長の性別（特別支援学校は女性が64%であるが、その他の校種では男性が7割以上）



◆会長の在職期間（1年が全校種で5割以上、2年までを含むと8割強）

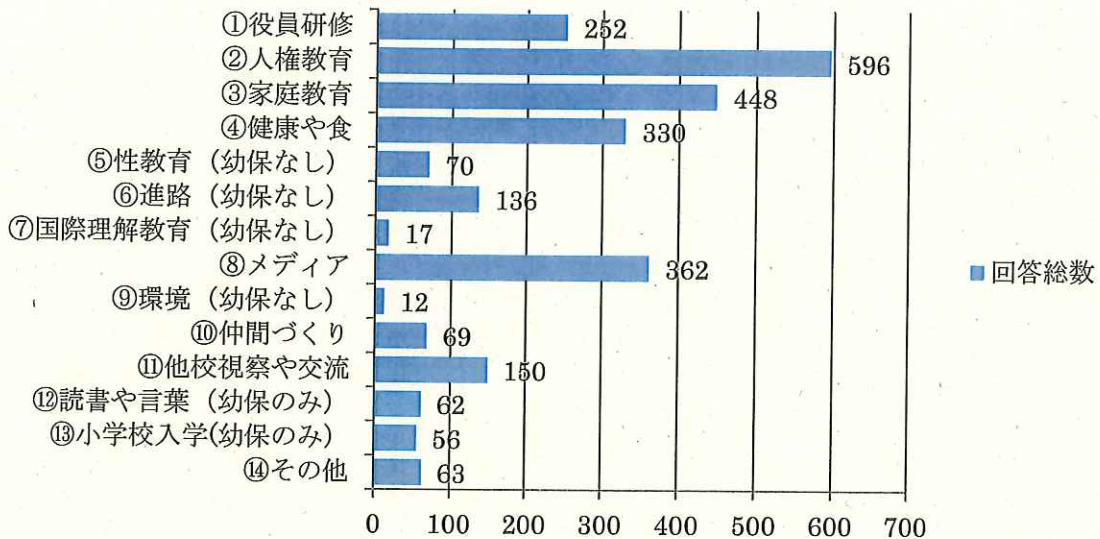


◆学校運営への参画（全校種で関係組織への参加は6割を超える）

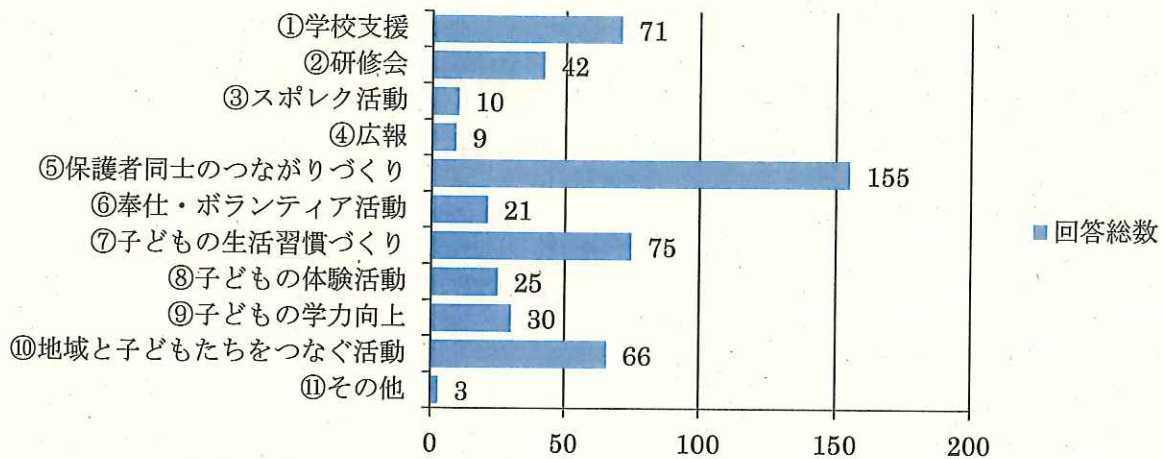


* グラフは小中特支のみのデータ（園・高校に学校支援ボランティアがないため）

◆PTA研修会で実施した内容（過去2年間を調査。複数回答）



◆PTAで充実させたい内容（項目から2つ以内を選択）



* グラフは小中特支高のみのデータ

◆自由記述から見えてくるPTA活動の課題

- ・ 役員の確保
- ・ 参加者の減少
- ・ 保護者同士の連携

4 まとめ

- ・ 女性会長は県内で79人。約20%である。保育所が最多（割合では特別支援学校）。最も少ないのは中学校である。
- ・ 会長職は2年以内で交替する者が多い。
- ・ 多くの小・中学校で、PTA役員が学校支援ボランティア活動企画会議に参加している。
- ・ PTA研修は、1年間に複数のテーマで複数回実施されている。保・幼・認定こども園では、「家庭教育」、小・中・特別支援・高校では、「人権教育」について研修の機会を持つPTAが多い。また、小・中学校では「メディア」、特別支援・高校では「進路」に関する実施率も高い。
- ・ PTAで充実させたい内容は、全校種で「保護者同士のつながりづくり」が最も多く回答。次いで、小・中学校は「子どもの生活習慣づくり」「地域と子どもたちをつなぐ活動」である。特別支援・高校は、「学校支援」が高い。

